

みんなの さくらちゃん

第5号

2009年11月22日発行

なごしちやま



最新のニュースの中で、久々に“老衰”という言葉を目にした。めざましい医療の発展で超高齢化社会を迎える事が出来るようになった世の中、「ニンチショウ」「ニンチショウ」「アルツハイマー」「アルツハイマー」……。

ひとが長く生き、ほとんど誰とも話をせず、自分が必要とされる実感がうすい中、“ボケ”ることはそんなに悪いことなんだろうか？身内が、友が旅立ってゆく中で、自分の死と向き合って生きてくって怖くないかな？「ボケ」や「痴呆」と云った時にはく情>があった気がする。

<情>とは 物事に感じて起る心の動き、思いやりの心、なさけ、おもむき、あじわい——広辞苑より
<情>のある中で、大きく包み合い、許し合う家族・社会であつたらいいなあ……。

まるちゃんのつづやき

トピックス

2009 NPO フェスティバル
11月14日(土)六塔寺公園にて

『かんさい熱視線』に登場

NHK総合テレビ 12月4日(金)
午後7時30分~7時55分



バザーでボランティアメンバーの手づくりグッズを販売中

11月22日(日) 10時~16時30分 関西学院大学G号館にて
第3回『か(介護)い(医療)ご(ご近所)学会 in 西宮'09』開催



「つどい場」に集う人たちと「つどい場」

《しんどいの。睡いてよ》

◎ 介護中の方が来られます。

● 夫介護で行きづまり、あぐねて来られた奥様に当「つどい場」でおなじみのK医師を紹介。薬もかわり、少しづつ落ち着いてこられるにつれて表情も柔いで、5回目来訪時には、ご主人の応答の言葉に大笑いされることも。😊

● ご両親(共に要介護5)を介護中の50代男性。介護のことをわかってもらえる人達と出逢える場に来たいけど、何となくではと、毎月、「包丁を研ぐ」という仕事をもって来られます。(大助かり)

◎ 介護を終えた見送られた方も、それぞれの想いをもって来られます。

◎ 夜中に電話だけでつながる方もあります。(「いのちの電話介護者版」)

《「つどい場」—どんなところ? どうなるの? 凸「つどい場」をつくりたい!!》

- 介護職、介護事業責任者(オーナー)、介護周辺の仕事の方たち。学生、病院の(在宅支援を考えている)ナース、新聞やタウン紙の記者。県、市、役所の方、社協、保健所、大学教授、ボランティア関係の方など、多種多様な立場の方が、それぞれ全国から来られます。
- 「あ、こんなのが欲しかった。地元でつくろう!」といわれる方も。
- 「今は週1回ですが、オープンしました!」と嬉しいお便りもいただきました。

《くらぶ》 ビーズ、レザークラフト、アロマテラピーなど みんな夢中。

《月例会》 ボランティアスタッフは月1回集って、具体的な「つどい場 さくらちゃん」のあれこれについて話し合いをもちます。

《居酒屋 さくら》

つどい場に来られる方によっては、夜「居酒屋 さくら」になります。

- 講座の後、講師を囲んで、美味しい時間を過ごしたり。。。。
- 自費で東京からパリコネメンテナンスにボランティアで来て下さった「いい人」へのお礼も「居酒屋 さくら」のおもてなしと、ショートステイ。(ありがとう!!) 😊😊😊

🍁🍁🍁🍁 おでかけタイ 🍁🍁🍁🍁

今年も行ってきました北海道！(6/28~30)



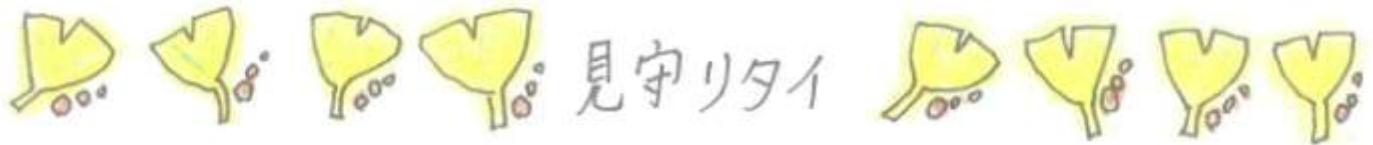
新緑の北海道は、38年ぶり新婚旅行以来です。リフト付のバスに乗り込み、滝川を経て、中富良野へ。ホテルからは、十勝岳連峰が見渡せる。ゆっくり温泉に浸かり、汗を流して夕食。豪華な夕食で『ズワイガニ、タラバガニ、モカニ』三種のカニの食べ放題で満足。

2日目は、ラフティング『急流下り』、ファーム富田『花壇』の2班に分かれ、それぞれ満喫した。JRの『富良野駅』からノロッコ号で『美瑛駅』へ。その後の農家の庭でのバーベキューの炭火のステーキの味は最高。3日目は『増毛駅』近くで日本海の幸『海鮮丼』を腹いっぱい味わい、空老で花畑牧場の生牛乳をゲット。来年も行こうと思っています。
《西宮市 男性 Hさん》

北海道の大自然や美しいお花、おいしい食べもののみならず、車イスでも楽に乗り降りできるリフト付のバス、サポーター、楽しいガイドさん等々。様々な方に支えられ、介護する人、される人、参加者さん、とてもいい顔をされていました。今年初めて参加させて頂きましたが、来年も参加したいと思う、そんな心が暖かくなる。又勉強にもなる北海道の旅でした。《西宮市 女性 Nさん》



前日のこがらし1号も嘘のように晴れた11月3日、武蔵川のコスモス観賞に参加。私は施設から参加の見守りタイ利用者Mさんのサポーターとして、満開のコスモス畑の中の人間になりました。お母様、弟さんの参加というサプライズの中、一緒にお弁当を食べ、オシャベリに花を咲かせ、秋にちなんだ歌をみんなで大合唱。楽しい大人の遠足でした。
《西宮市 女性 Aさん》



見守りタイ員のひとりごと。。。。

① 脳梗塞から回復されて、体が少し不自由で、認知症が少しおありの70代の男性の方。デイサービスからのお帰りを迎えして、奥様が帰られるまでの1時間、御自宅での見守りでした。

最初、さくらちゃんの見守りと言っても、奥様の友達と言っても理解していただけず受け入れてもらえませんでした。

エレベーターで高層の御自宅まで大柄なお体を支えながら、軽曲にも心配でした。

3回目で「あなた家政婦か？」と聞かれ、「そうです。家政婦です。よろしくお軽いします。」とお答えしました。どこか、ホッとされたように見えました。

そして、その次の見守りの日から優しい笑顔で待っていて下さるようになり、会話も少しずつ増えていきました。今でも心を届けて下さった時の感激は忘れることはありません。見守りは、とこもやりがいのある仕事だと思います。

② 無動で、じーっとテレビを見つめられる方の見守りに行きました。話しかけても返事が返ってきません。ご家族の意向で、準備してある昼食やお茶を食べるように促して欲しいとのことでした。お手の手で勧めますが、「あしや、いらん」。そんな見守りが続いていました。

ある日、時間がなく自転車を一生懸命こいで訪問した時、持参したスポーツドリンクを飲みたくて、彼にも「一杯いかがですか？」と勧めながら、一気に飲み干したのです。それなら彼もつられて、一気に飲み干し、「おいしいねえ。」

それから会話が少しずつ増え、散歩にも行けるようになりました。

「ええなあ」と笑顔で答へられると、「ほめー」とこころが温かくなります。

見送った義父の無動に苛立った時、訪問してくれていたヘルパーさんと唱歌を聴くように歌っていた様子が思い出されました。

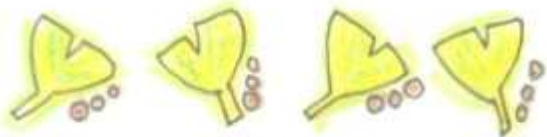
③ 脳梗塞の後遺症で右片麻痺になられた方の通院付き添いボランティアをしていました。ある日、訪問確認印をもらおうとしたら、所定の所に印鑑がなく、ご本人に何卒サインをもらったのですが、左手での片一杯の波線。しまった！彼の自尊心を傷つけ、その後他のボランティアと交代。それから幹「〇〇さんが書いてくださったのよ」とメモを見せられて、「すごーい！」感動でした。いつおれも速くから見守りたいと思います。

*見守りタイ事業 (4月～10月)
つどい場さくらちゃん独自見守りタイ

人数	訪問回数	総利用時間
104	666	809

西宮市委託見守り事業

人数	訪問回数	総利用時間
31	135	190



介護力、人生レベルアップのために10月までに各種講座18回 〇〇〇〇

岸川Dr. 認知症講座 (5/22・9/19)

- ◎ 認知症の生活は介護者なしでは不可能であることを深く感じた。家族のストレスは大きい。仕方は楽しく介護できるのだろうか？
— こんなはずではないと思う気持ち大きい。(50代、女性、介護職)
- ◎ よき医師(かわりつけ)を見つけることの大切さを感じた。又家族さんが何でも言える病院を探せたらと思った。(50代、女性、介護職)



宇和典子さん認知症講座 (10/9)

- ◎ アリセプトについて、普段疑問に思っていたことが理解できました。(40代、女性、看護職)
- ◎ 認知症が増えていく中、皆の理解が深まりお互いが助け合っていく世の中になってほしいと思いました。(60代、女性、地域2の活動者)



福辺流 介助術 (6/4)

- ◎ 起きあがり(介助)ショウゲキを受けました。(30代、女性、介護職)
- ◎ 普通ということがこんなにも難しいという事を実感。伝えたり、感じたりする事に対するセンスを磨くカギ? かなと感じた。(20代、男性、介護職)
- ◎ 感じる力、観察する力の必要性、片麻痺の方のしんどさ、感じた。スタンダードの立つ、座るが奥が深い!! (30代、女性、介護職)
- ◎ 普段意識せずに行っている行為が声かけや相手主体の動きにより、お互いがより楽な介助力になるのがわかった。(30代、女性、介護職)
- ◎ 力のいらない介助にびっくりも信じて、待つ、介助を目標します。(30代、女性、介護職)

※次回の福辺流講座 4/8・22・5/13/27を予定しています。



『つくる人の想いをこめ?』 ボランティアメンバー作りのグッズ販売中!

月に1回 6~7人が集まって今は主に“健康布ぞうり”を作っています。
黙々と?いえ、ワイワイ、ガヤガヤ、お菓子をつまみ、お茶を飲み、おしゃべりを存分に楽しみながら、でも手も又休むことなく—。

素材を組み合わせ、色を合わせ、裁断し、そして編む。手際は見事なものです。(はじめた頃のたどたどしさは嘘のよう。)とはいっても、買っていただくための製作。お互い“厳しい目”でのタメ出しも。

そうやって出来上がった作品は つどい場“さくらちゃん”の活動資金の一助とするために、販売します。

使っていただく方々のお役に立つことも、又、よろこびのひとつです。お買い上げ よろしく お願いいたします。

※ネクタイリサイクルホジレット、アクリルたわし、健康布ぞうり、などなど。

《 これからの おでかけタイ情報 》

1月は「阪急西宮ガーデンズ」で お食事と 映画鑑賞

3月は いちご狩り を 予定しています。

《 これからの 学びタイ情報 》

12月12日(土) 通所介護所「まま」 藤渕空生さん

老人保健施設「ひまわり」 濱田久仁子さん

1/29 講演 三好春樹さん

3/9 認知症講座 岸川雄介さん

3/5・3/26・3/9 傾聴講座 栗野直造さん

3/11 認知症講座 植木昭紀さん

特定非営利活動法人

つどい場さくらちゃん

〒662-0972

西宮市今在家町1-3

Tel・FAX: 0798-35-0251

Email: sakurachanmaru@bca.bai.ne.jp

http:

//www.geocities.jp/tsudoiba_sakurachan

